学習院大学通信 COMPASS [April 2020 vol.85]

I April 2020 **vol.85**



CONTENTS

新人生の皆様へ
時空間中の友
学習院NOW —————————
●学生の表彰について
●「第34回オール学習院の集い」開催中止のお知らせ
履修について
●学生センター教務課 ●教職課程事務室
●外国語教育研究センター ●学芸員課程事務室
インフォメーション
●総務部・施設部 ●学生センター学生課
●学生センター教務課 ●東洋文化研究所
●国際センター ●学芸員課程事務室 ●大学史料館
●学習院さくらアカデミー ●計算機センター ●財務部
キャリアアップサポート
●キャリアセンター
図書館へ行こう
■図書館からのお知らせ

ヘルス・サポート14
●保健センター ●スポーツ・健康科学センター
●学生相談室
学生生活を送る上での注意事項15
●飲酒について ●薬物乱用について
●ソーシャルメディアの使い方について
●警告:学内PCアカウントの不正使用について
●盗難について ●学内での喫煙について
●学内でのスマートフォン等の充電について
●カルト教団・宗教の勧誘活動にご注意ください
●海外渡航する上での注意
学習院大学ソーシャルメディアガイドライン【学生向け】について ―― 17
学校法人学習院情報セキュリティポリシーについて ―― 17
学習院大学ハラスメント相談窓口19
令和2年度 学年暦 ——————— 裏表紙

新入生の皆様へ

学長 荒川 一郎

新しい年度が2000人余の新入生を迎えて始まりました。教職員と在学生一同、新入生の皆様を歓迎いたします。本学の多数のOBOGも同じく皆様を歓迎し、期待を持って見守っていることでしょう。

大学を選ぶにあたって、みなさんは学習院大学がどんな大学かよくよく調べていることと思いますが、あらためて本学の特徴を申し上げます。法学部、経済学部、文学部、理学部、国際社会科学部の五つの学部と大学院に属する学生と教職員、合わせて1万人規模の共同体が一つのキャンパスに収まっています。運動施設もほとんど目白のキャンパスにあります。卒業までの学生生活をこの中で送ることができます。これは単に便利というだけではありません。自分の専門とは別の分野を学んでいる学生、さらにそれらを研究している教員と一緒に過ごせます。社会・人文・自然科学が高密度で同居する多様性に満ちた一つのキャンパスの中で学生生活を送れます。この恵まれた環境を思う存分に享受してください。教員は学部の垣根を越えて講義科目を用意します。あるいは異分野を融合した講義科目も企画します。それらを聴講してください。積極的に他学部・他学科の講義を聴きに行ってもよいでしょう。気になっている社会の問題を、学問分野の異なる学生・教員と議論することはきっと有益です。

教職員は、このようなキャンパスに毎年毎年新入生を迎え、4年間の成長を見て送り出しています。大学に入ってきた時と出ていく時では、それぞれ 大きく変わっています。その変わり方も、人により千差万別です。一人一人がどのように成長するか、変身するか、それを楽しみもし、驚きもして見守って

います。みなさんも自分自身が4年後にどんな風になって卒業していくか想像してください。想像することが大切です。 人は自分の見ている方向に進んでいきます。林の中をスキーで滑るときには、木を見てはいけません。木と木の間を 見ます。テニスのボールは見ている方向に飛んでいきます。竹刀が打つ先は見ているところです。自分の将来を想像 し、頭の中に描きましょう。体も心もそちらに向いていきます。単に結果を想像するのでなく、そこに向かって行動して いる自分を想像できれば、路は開けたも同然です。10年後、20年後、50年後の自分は? まずその一歩は4年後の 大学を卒業するときの自分を想像することです。それがみなさんのこれからの4年間を決めます。意義ある大学生活を 送ってください。



時空間中の友

学生センター所長 村主 道美

だいぶ前、私の知っている方のご子息が、ある大学に入学直後、不幸にして命を落とされました。4月、大学が正式には認めていない、インフォーマルな学内のスポーツサークルが新入生の歓迎バーベキューを川べりで行い、その途中でリーダーらしい上級生が予告なく突然水に飛び込み、このサークルでは毎年こうしているんだ、みんな後に続けと叫んだようです。多くの参加者が続けて川に入ったらしいのですが、彼らは、互いをよく知りませんから、互いに注意しあうこともなかったと思われます。その後ご子息がどのように行動したかの仔細は誰も観察していませんでしたが、前日の雨で水量を増していた川から上がるころ彼の不在にようやく皆が気づき、彼はその数時間後、何キロか下流で捜索者によって発見されました。皮膚病のために殆どプールに入らなかった息子が、なぜ川に入ったのだろう、とお母さまは言っておられました。

このような危険は、学生の誰にでも、実はいつでも降りかかりうることです。大学が高校までの生活と異なり、集団が大きすぎて、他の学生を全員知る状況はあまりない、ということが関係しているように私には思われます。語学など比較的小人数のクラスを除けば、大教室の授業が相当あり、学生はクラスとして互いを知り合うことが困難になります。色々なクラブ活動、サークル活動、あるいはアルバイトなどで、学生が互いに顔と名前と趣味趣向を知り合う小さなグループを求めるのは、学業からの逃避という点だけでは説明がつかず、このような日本の大学生の集団内の孤独から来るのではないかと私は思います。だから仲間のグループができつつあるときは、必要以上に、周囲からの見えない圧力に弱いのではないでしょうか。

この問題には解決の秘策はありません。ですが私が学生諸君に勧めたいのは、時間軸と空間軸の中で、自分の現在を見つめることです。自分の出会ったことのない、あるいは出会う可能性のない人々と、自分の現在を比べることです。日本の過去にも、学生が社会を変えていこうと積極的に運動した時期があります。先進国の中では、激しい競争に晒され続ける多くの外国の学生が、受験勉強の後遺症で長いひと休みに入る日本の学生に追いつき、追い越すのが、20歳前後です。この蓄積の上に今日の日本の落日があります。途上国には、諸君より遥かに向学心がありながら、教育の機会を得られない若者がいます。自分の目の前にいる同輩の学生と楽しく過ごすのは無論好ましいことです。ですがその枠を超えた世界に関心を持ち、出会えない友を意識し続けることで、過度な同調圧力からくる事故も防げ、仮に今自分が不幸でもその不幸を相対化し、乗り越えられるのではないでしょうか。入学おめでとうございます。



本誌に掲載している行事等については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催日時等に変更が生じる場合があります。

学習院 NOW

学生の表彰について

※学年は令和元年度時のものとなります

学習院大学課外活動優秀団体・優秀者表彰

令和2年1月14日(火)学習院創立百周年記念会館小講堂にて、学習院大学課外活動優秀団体・優秀者表彰式が行われました。

この表彰式は、平成23年度より運動部常任委員会、文化部常任委員会及び文化系同好会常任委員会の合同で行われているもので、大会・コンクールで優秀な成績を収めた団体及び個人などが表彰されます。

【運動部】

最優秀団体賞

ラケットボール同好会

・第37回全日本学生ラケットボール選手権大会 団体戦 男子 準優勝

最優秀選手賞

・第31回フィンスイミング日本選手権大会

男子400mサーフィス 優勝、男子4×200mサーフィスリレー 優勝、男子4×100mサーフィスリレー 準優勝、

混合4×50mサーフィスリレー 第3位、男子200mサーフィス 第3位、 男子100mサーフィス 第7位

・第15回フィンスイミング日本学生選手権大会 男子50 mCMASビーフィン 優勝、男子200mサーフィス 準優勝、 男子100mサーフィス 第3位

・第17回フィンスイミングアジア選手権 日本代表に選出 ※台風19号の影響によりアジア選手権は中止

優秀団体賞

漕艇部

- ・第97回全日本選手権大会 女子ダブルスカル 第8位入賞
- ・第46回全日本大学選手権大会 女子ダブルスカル 第8位入賞

ホッケー部 (男子)

・第68回男子全日本学生ホッケー選手権大会 ベスト16

優秀選手賞

少林寺拳法部 菅野 知憲(文学部史学科3年)、藤田 大暉(経済学部経済学科3年)

・第53回少林寺拳法全日本学生大会 男子初段の部 優勝

優秀選手賞

ラクロス部(女子) 永田 亜美(法学部政治学科2年)

·2019 World Lacrosse Women's U19 WORLD CHAMPIONSHIP出場

新人當

スカッシュ部 桃井 梨帆(国際社会科学部国際社会科学科1年)

・第47回全日本学生スカッシュ選手権大会 新人女子の部 準優勝

功労賞

運動部常任委員会 鈴木 貴紅子(法学部政治学科4年)

·第70回四大学運動競技大会実行委員長

敢闘賞

トライアスロン部 久保田 玲奈(文学部英語英米文化学科3年)

- ・CalfMan Japan Duathlon Grand Prix Season15 南関東ステージ 第5位
- ・第12回日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会 第6位
- ・2019彩の国トライアスロン加須大会 準優勝
- ・2019日本学生トライアスロン選手権観音寺大会 第34位

【文化部】

最優秀団体賞

観世会部

・第11回全国学生能楽コンクールにおいて優秀賞を受賞

【文化系同好会】

最優秀団体賞

競技ダンス研究会

- ・第64回全日本学生競技ダンス選手権大会 タンゴの部 優勝
- ※東京理科大学との合同チームで出場

「第34回オール学習院の集い」開催中止のお知らせ

令和2年4月12日(日)に開催を予定しておりました第34回オール学習院の集いは、新型コロナウイルス感染症の国内での感染拡大の状況に鑑み、開催中止を決定いたしました。本集いを楽しみにしておられました方々には、大変なご迷惑をお掛けいたしましたこと、またご期待にお応えできませんでしたことに対し、深くお詫び申し上げます。

履修について

学牛センター教務課

履修手続きについて

(1)履修の計画

- ①履修要覧(入学時のみ交付)、シラバスなどをよく読んで、履修 しなければならない科目や履修したい科目をピックアップしてく ださい。
- ②履修登録するまでの期間は、履修を希望する授業に自由に 出席することができます。それによって最終的にどの科目を 履修するのかを決定します。なお、第1回目の授業に必ず出席 しなければならない科目もありますので注意してください。

(2) 履修登録

履修を希望する授業科目について、履修登録期間内に大学ポータルサイト(G-Port)上で登録を行います。履修登録期間内は、自由に履修登録の変更が可能です。当年度に履修する科目がない場合においても履修科目がない状態で登録を行う必要があります。なお、事前に登録手続きが必要な科目(外国語科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、演習科目等)については、必ず各科目で要求されている手続きを経た上で、履修登録しなければなりません。

(3) 履修登録修正

履修登録修正期間内に限り、登録科目の修正が可能です。必要に応じ、登録結果をもとにして、G-Port上で科目の修正(追加および削除)の入力を行ってください。なお、事前に登録手続きが必要な科目については、修正することができません。

(4) 履修登録科目の確認

上記(2)および(3)終了後、履修登録が正しくなされているかどうかを、G-Portの「履修確認」画面で確認してください(同画面はプリントアウトし必ず保管すること)。誤った履修登録がされていると試験に合格しても単位は認められません。

(5) 履修登録科目の取消

履修登録修正期間後は、原則として履修登録の修正は認められませんが、履修登録を行った科目について、途中で履修を中止したい場合、履修取消期間内に限り、登録科目の取消(削除のみ)が可能です。

学科の指定する履修取消対象外科目は履修の取消ができません。履修取消対象外科目は、4月初旬にG-Portでお知らせする予定です。

◎各種日程は学年暦をご確認ください。

f-Campus の履修手続きについて

学習院女子大学・日本女子大学・立教大学・早稲田大学との5大学間単位互換制度(f-Campus)に基づく科目登録を受け付けます。

科目登録は下記のホームページ上で行います(G-Port上での登録は不要)。

- ■対象者 令和2年度時点で2年次以上の学部学生(正規学生)
- ■登録申請期間

〈第1学期·通年·夏季集中科目〉

登録申請:3月25日(水)12:00~4月1日(水)9:30

結果発表:4月2日(木)9:30

〈第2学期科目〉

登録申請:9月2日(水)12:00~9日(水)9:30

結果発表:9月10日(木)9:30

【注意】履修登録上限のある学科の学生は、f-Campus科目の第2 学期分の追加により上限単位数を超過する場合には登録してはな らないので、充分に留意すること。

*科目登録できる単位数の上限は、他の4大学合計で年間12単位までです。 *詳細については下記ホームページをご覧ください。

f-Campus バーチャル事務局ホームページ https://www.f-campus.org/

司書資格の取得を希望する方へ

学習院女子大学で開設されている司書課程科目を、科目等履修生 として履修することにより、司書の資格を取得することができます。

司書課程科目の履修を希望する方を対象としたガイダンスを開催しますので、必ず出席してください。

- ■日 時 4月3日(金)17:00~18:30
- ■場 所 学習院女子大学 2号館201教室
 - *司書課程科目を履修することができるのは学部2~4年生および大学院生です。 ただし、ガイダンスは学部1年生でも出席することができます。
 - *すでに司書課程科目を履修している方は、あらためて出席する必要はありません。
 - *出願要項・願書は学生センター教務課(中央教育研究棟1階)で配付します。 出願期間は4月4日(土)~7日(火)です。

教職課程事務室

中・高教職課程の履修希望者の方へ

教職課程履修希望者は、必ず「教育基礎」第1回目の授業に出席 してください。なお、開講時間・教室については授業時間割表を確認 してください。

- ●「教育基礎」A・Bは同じ内容であり、いずれかに出席すればよい。
- ●他大学等で学籍を持ったことのある学生は、入学後すぐに教職課 程事務室に来室すること。
- ●専修免許取得希望者(大学院生)は、教職課程事務室に来室する こと(詳細は教職課程の掲示を確認)。

外国語教育研究センター

英語能力試験TOEIC® L&R IPについて

下記の日程でTOEIC® L&R IP試験を行います。

新1年生(国際社会科学部は除く)およびインテンシヴ・コース履修 希望者は必ず受験してください。(無料)

日時:4月1日(水)13:30~16:30

持ち物:学生証、筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル)

【1年生】

<u> </u>	
学科	教 室
法学科	中央 - 301
位于17	中央 - 302
政治学科	西2 - 201
以们于行	西2 - 305
経済学科	西2 - 301
柱伊子符	西2 - 302
経営学科	西2 - 401
社五子竹	西2 - 402
哲学科	西5 - B1
史学科	中央 - 401
文子科	中央 - 402
日本語日本文学科	西5 - 202
英語英米文化学科	西5 - 303
ドイツ語圏文化学科	西5 - 201
カニンク部圏サル労利	中央 - 303
フランス語圏文化学科	中央 - 405
心理学科	西5 - B1
教育学科	西5 - 201
物理学科	西2 - 501
化学科	西2 - 501
数学科	西5 - 302
生命科学科	西5 - 201

受験会場が2つある学科の場合には、当日教室入口の掲示で会場を確認してください。

【2年生以上】

令和2年度	西5-301
英語インテンシヴ・コース履修希望者	四5-301

令和2年度 英語インテンシヴ・コースの履修について

英語インテンシヴ・コースは、国際人として通用する英語の実践的能力の養成を目指す上級者向けのコースです。現在のところ、すべてがネイティブスピーカーによる授業で、履修者の積極的な参加によって更に充実した授業が望めます。

■対象:履修希望者(国際社会科学部を除く全学部対象)のうち、 下記の条件を満たす者

履修対象者は、左記の日程で実施される英語能力試験(TOEIC® L&R IP)の結果によって選抜されます。1年生でこのコースの受講を希望する人は、英語能力試験を必ず受験した上で、下記の履修希望者ガイダンスに必ず出席し、そこで申し込みをしてください。また、2年生以上の履修希望者も同試験を必ず受験し、履修希望者ガイダンスにも出席し申し込みをしてください。なお、以前インテンシヴ・コースに合格している学生は、再度受験する必要はありません。そのままコースの授業を履修できます。

■履修希望者ガイダンス

4月2日(木)13:00~14:00 西2-201

- ※合格者は4月7日(火)12:00から北1号館西側の外国語教育研究センター 掲示板および中央教育研究棟6階の外国語教育研究センター事務室掲示板 にて掲示発表します。
- ※2年生以上の履修希望者について、本試験を受験してもガイダンスに出席 しない場合は履修意思がないものとみなし、スコアは返却しません。スコアの 返却を希望する場合は必ず上記ガイダンスに出席してください。

学芸員課程事務室

「学芸員」とは、博物館や美術館などにおいて様々な資料の収集や 保管、展示、調査研究等にあたる専門職員のことをいいます。

令和2年度 博物館に関する科目の履修について

- ■本学において、この資格を取得するためのガイダンスが、下記のとおり開催されます。学芸員資格を取得するため「博物館に関する科目」の履修登録を希望する学生は、必ずこのガイダンスに出席したうえで、所定の手続を行ってください。
 - ●「博物館に関する科目履修ガイダンス」日時:4月7日(火) 16:00~ 場所:西5-B1教室
 - ●「博物館に関する科目履修申込受付」 日時:4月10日(金) 9:30~17:30 場所:学芸員課程事務室

令和2年度 「博物館実習」の履修について

- ■令和2年度に「博物館実習」を履修する学生のためのガイダンスが、下記の通り開催されます。令和2年度に「博物館実習」の履修を予定し、令和元年度中に「仮登録」を済ませた学生は、必ずこのガイダンスに出席したうえで、所定の手続を行ってください。
 - ●「第2回 博物館実習履修ガイダンス」日時:4月7日(火) 18:00~ 場所:西5-B1教室
 - 「博物館実習履修申込受付」

日時:4月9日(木) 9:30~17:30 場所:学芸員課程事務室 ※ガイダンス・履修手続に事前の連絡なく欠席した者は、履修資格を失うことになります。



総務部・施設部

目白キャンパスの馬場門·南外門における 電気錠設置について

目白キャンパスではキャンパスセキュリティ向上対策のため、馬場門と南外門の2箇所に電気錠を設置し、令和2年4月1日より運用開始を予定しています。各門の開閉時間は次の通りです。

馬場門 開門時間 6:00~20:00

閉門時間 20:00~ 6:00

南外門 開門時間 7:00~21:00

閉門時間 21:00~ 7:00

運用開始後、開門時間中に当該の門から入構する際には学習院が発行する電気錠に対応した身分証*が必要になります。当該の身分証をお持ちでない方は正門までお回りください。

※対応した身分証

学習院教職員証、学習院大学学生証、学習院大学身分証明書、 学習院女子大学学生証、学習院中·高等科生徒証、学習院女子中· 高等科生徒証

学生センター学生課

令和2年度 奨学金新規募集説明会について

新規に奨学金の申請を希望する学生に対し、奨学金全般の説明 を行います。

対象学生(再入学者を含む)	開	催日時	開催場所
法学部·文学部1年生 全学部2年生以上※		9:00~10:30	
経済学部·理学部·国際社会科学部1年生全学部2年生以上※	4月7日(火)	10:40~12:10	西5号館 B1教室
大学院生·法科大学院生		12:20~12:50	

※全学部2年生以上は9:00~、10:40~どちらの回に出席いただいても 構いません。(説明内容は同じです。)

■日本学生支援機構奨学金を希望する学生

上記説明会でのみ申請書を配布します。希望者は必ず出席してください。

■学内奨学金(給付)を希望する学生

上記説明会で「奨学金の手引-2020年度版-」を配布します。 希望者は必ず出席してください。

■学外奨学金(給付)を希望する学生

上記説明会でのみ「学外奨学金事前登録票」を配布します。<u>希望者</u>は必ず出席してください。

■現在「日本学生支援機構奨学金|貸与中の学生

令和2年度も同奨学金の<u>継続のみ</u>を希望する場合は、<u>出席の必要は</u>ありません。

■高等教育の修学支援新制度を希望する学生

上記説明会で申請書を配布し、手続き方法を案内します。なお、令和元年度中に在学予約採用で申請をした2年生以上は<u>出席の必要はありません。</u>

学生センター教務課

学籍関係の手続きについて

休学・退学・留学等の願出は、事前の提出が必要です。

教務課に早めに相談の上、手続きをしてください。

また、保証人や保証人住所に変更がある場合も、速やかに教務課で手続きをしてください。

(参考/大学HP)https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/procedure.html

東洋文化研究所

閲覧室の利用案内

東洋文化研究所は東アジアの法学・政治学・経済学・教育学・言語学・歴史学・文化人類学など様々な分野を学際的に研究しています。また、中国・朝鮮半島を中心とした東アジアに関する資料を豊富に所蔵していますので、東アジアに関連したゼミ発表やレポート作成、論文執筆の際の助けになるはずです。気軽に閲覧にお越しください。

開室時間 月~金 9:30~16:30

生 9:30~11:30

所在 北1号館4階 東洋文化研究所

ホームページ https://www.gakushuin.ac.jp/univ/rioc/

2020年度の研究プロジェクトについて

東洋文化研究所では、学内外の研究者による研究プロジェクトを 行っています。2020年度に活動する東洋文化研究所の一般研究 プロジェクトは以下の通りです(カッコ内は代表研究員)。

- 1.帝国議会の制度遺産と韓国・台湾比較から見た日本の国会 (野中尚人[法学部教授])
- 2.インドネシアの家族・地域社会に対する意識動向の 州間格差の長期的な分析(白田由香利[経済学部教授])
- 3.民間アーカイブズより見た近現代日本・ベトナム関係 (武内房司[文学部教授])
- 4.日本近代漢語表現の形成と明治期教科書資料の日本語 (前田直子[文学部教授])
- 5.近代の建国理念をめぐる日中間の相互影響 (中田喜万[法学部教授])
- 6.日本とマレーシアの教育現場における熱中症対策の調査、 介入、効果検証(山﨑泉[国際社会科学部准教授])
- 7.中国古代帝国における地方豪族勢力に関する出土資料 データ整理(鶴間和幸[文学部教授])

基礎教養科目「アジアを学ぶ」を1学期に開講します

1学期に基礎教養科目「アジアを学ぶ」を開講し、東洋文化研究所の研究成果を学生の皆さんに紹介します。水曜4限に授業を行う予定です。本授業では学生の皆さんがレポートや卒業論文で中国や朝鮮を中心とする東アジアを取り上げる際の助けになるよう、東アジアの歴史・地理に関する基礎知識を講義するほか、本学所蔵の東アジア関係資料(中国の古典籍や朝鮮の古代や近代の資料など)の探し方や利用方法について調査実習を行う予定です。

国際センター

大学間協定の新規締結について

この度、学習院大学では新規に下記の大学と大学間協定を締結 しました。現在もいくつかの大学と、協定締結の協議を行っています。

●ヤギェウォ大学

古都クラクフに所在するポーランド最古の高等教育機関で、ヨーロッパでも最古の大学の一つであり、コペルニクスやノーベル文学賞受賞の詩人ヴィスワヴァ・シンボルスカら著名人がかつて在籍していました。2018年にはロイターによる「ヨーロッパで最も革新的な大学ランキングトップ100」にも選出されており、京都大学、神戸大学、東京外国語大学、上智大学等の日本の大学と学生交換を含む協定を締結しています。

- 1. 創 立:1364年
- 2. 所在地:ポーランド・クラクフ
- 3. 学生数:41,661人(2018)

※Ph.D students, Post diploma students含む

4. 学部等:Law and Administration, Philosophy, History, Philology, International and Political Studies, Chemistry, Mathematics and Computer Science等

●オスロ大学

ノルウェーの首都オスロに所在する同国で最古かつ最大の国立大学であり、ノーベル賞受賞者を多数輩出しています。QS World University Rankings(2017年)やTimes Higher Education (2018年)等の著名な大学ランキングでノルウェーにおいて1位となるなどノルウェー有数の大学の1つとして評価されています。また、日本を含む多くの国との共同研究を多数行っており、全学生数の10%程度が留学生であるなど、国際色豊かな大学です。

- 1. 創立:1811年
- 2. 所在地: ノルウェー・オスロ
- 3. 学生数:30,985人(2018)
- 4. 学部等: Humanities, Law, Mathematics and Natural Sciences, Medicine, Dentistry, Social Sciences, Theology, Educational Sciences

●ノード大学

北部ノルウェーで最大の都市ボードーに所在する大学で、地域連携に 力を入れる一方、グローバルな視点を有する若い大学でもあり、世界 中から交換留学生や短期研修参加学生を受け入れており、活発で多 様な学生交流をサポートしています。

- 1. 創 立:2016年
- 2. 所在地:ノルウェー・ボードー
- 3. 学生数:約11,000人(2018)
- 4. 学部等:Biosciences and Aquaculture, Education and Arts, Social Sciences等

●ミズーリ州立大学

ミズーリ州に所在し、185を数える多彩な学位を展開している大規模総合大学で、15を超える国・地域に協定校を有し、群馬大学、富山国際大学等の日本の大学と学生交換を含む協定を締結しており、また日本人留学生の受入実績も豊富です。

- 1. 創 立:1905年
- 2. 所在地:アメリカ・ミズーリ州
- 3. 学生数:26,001人(2018)
- 4. 学部等: Arts, Economics, Global Studies, Social Sciences, Philosophy, Sociology, Chemistry等

●ストラスブール大学

フランス北東部、人口約27万人の都市ストラスブール所在のフランスで最大規模の公立大学です。欧州研究大学連盟(LERU)の創設メンバーとして重要な役割を担い、アルベルト・シュヴァイツァー博士をはじめとして複数のノーベル賞受賞者を輩出しています。また、日本との関係では、ストラスブール所在の日仏大学会館と協同して、日仏間の大学間交流の促進に努めています。

- 1.創 立:1631年
- 2. 所在地:フランス・ストラスブール
- 3. 学生数:50,822人(2017-2018)
- 4. 学部等: Arts, Literature and Languages, Law, Economics, Management, Political and Sciences, Social Sciences, Social Sciences and Humanities, Science and Technology, Health

●マラエ科大学

マレーシアの首都クアラルンプールに所在するマレーシア最大規模の 国立大学であり、九州大学、名古屋工業大学、北海道医療大学等の日本 の大学と協定を締結しています。

- 1. 創立:1956年
- 2. 所在地:マレーシア・クアラルンプール
- 3. 学生数:160,957人(2019)
- 4. 学部等: Engineering, Medicine, Applied Sciences, Law, Art and Design, Education, Administrative Science & Policy Studies等

本学にとって、ポーランド、ノルウェー、マレーシアの大学とは初めて、アメリカ、フランスの大学とはそれぞれ6校目の大学間協定締結となります。これを機に、本学の海外交流が、ますます発展していくことが期待されます。

国際センターオリエンテーション

国際センターの紹介と、本学の海外留学制度や留学に関する基本的な情報についての説明会を、下記のとおり開催します。留学を考えている学生の皆さんは必ず出席してください。

- 日 時:4月7日(火) 14:30~15:45
- 場 所:西5号館-B1教室

外国人留学生オリエンテーション

在留資格が「留学」の外国人留学生を対象にしたオリエンテーションを、 下記のとおり開催します。新入生は全員必ず出席してください。

- 日 時:4月2日(木)9:00~9:45
- 場 所:中央教育研究棟-403教室

国際センター

留学生のための課外活動の実施について

国際センターでは、霞会館のご助成のもと、留学生が日本文化及び伝統芸能を学ぶ機会の提供として「文楽鑑賞教室」(令和元年12月7日(土))を開催しました。文楽鑑賞教室では、学習院高等科留学生3名を含む8名の留学生



とボランティアの日本人学生2名がともに、文楽の演目「伊達娘恋緋鹿子」他を鑑賞しました。令和2年度も、国際センターでは、バス旅行(5月及び10月)、歌舞伎、文楽の各鑑賞教室(6月、12月)その他、日本の伝統文化に触れる学外研修や体験教室といった留学生向けの交流行事を実施する予定です。

留学生送別会を実施しました

令和2年1月31日(金)に、この学期をもって留学期間終了となる協定留学生11名と、3月に卒業・修了を控えた私費留学生の送別会を行いました。当日は彼らのバディや日本語講師、私費留学生、ボランティア学生が多数集まり、別れを惜しんでいました。



本学の留学プログラム(1年~1学期間)一協定留学プログラム

本学の海外協定校へ1年間(一部の大学は半年間)、協定留学生として派遣されるプログラムです。プログラムの内容は派遣先により異なりますが、ほとんどの場合、派遣先での学費免除や、学生寮の斡旋等のメリットが受けられる他、派遣先で修得した単位の認定を申請することができます。

留学先:韓国・中国・台湾・タイ・オーストラリア・イギリス・フランス・ドイツ・ オーストリア・イタリア・アイスランド・エストニア・ノルウェーの各 協定校

出願・選考:年2回(第一期:6~7月頃、第二期:10~11月頃)、書類 選考及び面接選考

※第一期の募集は、5月中旬頃、国際センターホームページ、G-Port 及び掲示板等で公示します。

海外留学のための奨学金について

学習院大学海外留学奨学金

留学に伴う経済的負担を軽減し、少しでも多くの学生に留学を経験 してもらうことを目的とした奨学金です。

出願条件:「留学願」が承認されている者又は承認されることが見込 まれる者等

奨学金額:1名あたり年間40万円以内(給付)

採用予定人数:年間40名程度

出願時期・選考方法:年2回(第1回:12月、第2回:6月)・書類選考

学習院大学語学能力試験受験の助成

留学に必要な語学能力試験を受験した学生を対象に、助成金を支給しています。

出願条件:留学のための語学試験を受験した者 奨学金額:1万円以内(給付、試験により異なる)

採用予定人数:年間80名程度

出願時期・選考方法:年2回(第1回:6月、第2回:12月)・書類選考

その他の奨学金・助成

- ○学習院大学海外短期研修奨学金
- ○大学院生の国外における研究発表援助

それぞれの奨学金の詳細な募集要項等については国際センターホームページ及びG-Port等で確認してください。

TOEFL®テスト対策コース・IELTS™ 対策講座の開講について

国際センターでは、主に英語圏や世界各国への英語での留学希望者の支援を目的とした「IELTS™対策講座」及び「TOEFL®対策コース」を開講しています。IELTS™対策講座では、IELTS™のスコア取得に必要な指導を、分野別にネイティブの講師により受けることができます。また、TOEFL®対策コースは、e-learning形式のため、受講者の時間やニーズにあった学習が可能になります。

本年度の受講等の詳細については、国際センターホームページ、 G-Port及び掲示板等をご確認ください。

HR・ゼミ・課外活動の合宿は、校外施設をご利用ください (利用料金「特例」のご案内)

学習院大学が保有する4つの校外施設では、利用料金に特例を設けています。 HR・ゼミ・課外活動の合宿では校外施設をご利用いただくと、料金がとても お得ですので、ぜひご活用ください。

【校外施設利用料金特例】

- 1. HR・ゼミを指導教員の指導の下に使用する場合は、1泊2日分に限り学生 生徒は利用料金免除
- (対象施設/沼津游泳場、妙高高原寮、日光・光徳小屋、鎌倉寸心荘)
- 2. 輔仁会団体に限り合宿の利用料金は半額**
 - (鎌倉寸心荘は教育研究目的の利用のみ)
 - ※ ① 学生課に合宿許可願と校外施設利用申込書を提出してください
 - ② 学生課の受付印が押印された校外施設利用申込書を施設課に提出してください

(対象施設/沼津游泳場、日光・光徳小屋、鎌倉寸心荘)

料金・申込方法・その他詳細につきましては、施設課までお気軽にお問い合わせください。

電話 03-5992-1053 (平日9:00~16:00 土曜日9:00~12:00) HP:https://www.gakushuin.ac.jp/ad/kanri/kougai.html



沼津游泳場 静岡県沼津市下香貫島郷2802



日光·光徳小屋(5月~10月) 栃木県日光市中宮祠官有無番地



妙高高原寮(<u>2020年9月末で閉寮</u>) 新潟県妙高市大字関川2416-10



鎌倉寸心荘 神奈川県鎌倉市稲村ガ崎3-11-1

令和2年度基礎教養科目について

国際センターでは、外国人留学生、及び留学を希望する日本人学生を対象とした基礎教養科目を開講しています。

「英語で学ぶ日本事情-文化・社会・科学~Introduction to Japanese Culture, Society, and Scientific Research」は、英語によるオムニバス形式の授業で、受講する学生は、日本の文化・社会・科学におけるトピックについて、英語で幅広く学ぶことができます。

「国際社会とは?-21世紀の地球人であること-」は、「国際社会」を 社会学、経済学、歴史、インターネット、仮想通貨、AI等の観点から学ぶ ことができます。

また、「海外語学研修」、「海外フィールド研修(東アジア研究)」、 「海外フィールド研修(欧州・日本研究)」は、夏季休業期間、国際センター 主催の各種短期海外研修のうち、基礎教養科目の対象になっている プログラムに参加する学生が受講できるもので、海外の言語、文化、 社会などについて知識を深め、海外での研修をより充実させる目的の ものです。

受講を希望する方は、本年度のシラバスを確認してください。

本学の留学プログラム(短期)一海外短期研修プログラム

国際センター及び一部の学部学科等では、春夏の長期休業期間中、各国での海外短期研修を開催しています。詳細については、学内掲示等に順次発表されますので、そちらを確認してください。

※国際センター及び英語英米文化学科の研修プログラムの一部は、 単位修得が可能です。詳細は各主催元で確認してください。

国際センターでは短期語学研修プログラムの他、約300名の学生の皆さんが参加できる海外短期研修と国内研修を開催します。興味を持った方は、すぐ国際センターまでお越しください!詳細はhttps://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/abroad/shorttermprogram.htmlをご覧ください。

アメリカ短期語学研修(新規設置)

ノースカロライナ州立大学シャーロット校

「Listening & Speaking」、「Communication」、「Communication Workshop」の受講を通じて英語及びアメリカの文化を総合的に学ぶ研修です。日程:8月21日(金)~9月9日(水)



募集人数:10名程度 費用:68万円程度

国際センターホームページのご案内

国際センターでは、留学、海外研修、国際交流に関する各種プログラム、キャンパス内国際交流イベント、奨学金や助成金等の情報を、国際センターホームページ、G-port、及び掲示板を通してできるだけ分かりやすく、随時お知らせしていきます。

留学や国際交流に興味を持たれた方は、まずはこちらを確認して ください。

https://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/(日本語)

https://www.univ.gakushuin.ac.jp/en/global/ (English)

またFacebookでも国際センター主催イベントの告知や実施状況を報告しています。

https://www.facebook.com/ic.gakushuin.ac.jp/

学芸員課程事務室

学習院大学は博物館と連携しています

学習院大学では、学内に博物館相当施設である史料館を設置するほか、科学技術や美術・歴史などに対する皆さんの関心を高めることを目的として、学外の博物館と下記の連携を結んでいます。各館の窓口で学生証を提示すると、常設展が無料で観覧でき、一部特別展企画展が割引になるなど、さまざまな特典があります。連携や特典についての詳細は、学内担当部署学芸員課程のHP:https://www.gakushuin.ac.jp/univ/curator/index.html や、各館HPの連携専用ページをご確認ください。

【連携名称と対象となる博物館】

- ■国立科学博物館大学パートナーシップ→国立科学博物館
- ■東京国立博物館キャンパスメンバーズ→東京国立博物館
- ■東京都歴史文化財団パートナーシップ→江戸東京博物館・ 江戸東京たてもの園・東京都現代美術館・東京都写真美術館 他
- ■国立美術館キャンパスメンバーズ→東京国立近代美術館・ 国立西洋美術館・国立新美術館・国立映画アーカイブ

大学史料館

令和2年度学習院大学史料館春季特別展 「学習院とスポーツ」

学習院大学史料館では"学習院とスポーツ"をテーマとした展覧会を 開催します。

明治10年(1877)に開校した学習院では、体力増進のために体操が重視され、授業や課外活動では日本の伝統的な武術が奨励されました。一方、海外の動向や文化に敏感な皇族・華族家の子弟や教職員らにより、西洋から新たに入ってきた近代的なスポーツが国内でもいち早く取り入れられ実践されてゆきます。

この展覧会では、こうした学習院の旧制時代のスポーツに関する資料と写真を、それらにまつわるエピソードと共にご紹介します。学習院出身で、日本人初のオリンピック選手となった三島弥彦《1912 ストックホルムオリンピック》や、馬術競技で日本史上唯一金メダルを受賞した西竹一《1932 ロサンゼルスオリンピック》に関する資料、また、館蔵の"皇族とスポーツ"に関する写真なども展示します。

【会期】:令和2年4月1日(水)~5月30日(土)

開室:月~土曜日 10:00~17:00

閉室:日曜、祝日、休日

【会場】:学習院大学史料館展示室(学習院大学 北2号館1階) 入場無料

【関連講座】:第91回学習院大学史料館講座

「スポーツと学習院-その足跡をたどる-」 講師:坂上康博氏(一橋大学大学院教授) 日時:令和2年5月9日(土)14:00~15:00 会場:学習院創立百周年記念会館 正堂

入場無料·事前申込不要

※最新の開室情報は、学習院大学史料館HP

https://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua/でご確認ください。

学習院さくらアカデミー

講座ガイダンスおよび春期特別講座のお知らせ

学習院さくらアカデミーでは、資格・検定対策講座および英語講座の内容を理解していただくために、ガイダンスを無料で実施しています。講座のカリキュラムやテキストの内容、資格の効用、英語試験のスコアアップ法などについて説明します。すべて予約不要ですので、直接、下記教室へお越しください。

■キャリアアップ・スキルアップ講座ガイダンス日程一覧

■英語講座 無料 / 予約不要 講座名 日程 曜日 時間 教室 4月21日 TOEIC® スコアアップ対策講座 (火) TOEIC® L&R 講座 600 貞達成コース 4月16日 (木) TOEIC® L&R 講座 730 点達成コース 南1号館202教室 7月7日 夏期集中 1日でスコアアップ! IELTS スピーキング講座 (火) 18:30 ~19:00 夏期集中 1日でスコアアップ! IELTS ライティング講座 7月9日 (木) 夏期集中 TOEIC® L&R 600 点突破

7月9日

(木)

■資格・検定講座

夏期集中 TOEIC® L&R 730 点突破

無料 / 予約不要

南1号館203教室

■貝恰・快上舑座				無付 / 予制个安
講座名	日程	曜日	時間	教室
秘書検定準1級·2級講座	4月16日	(木)	18:30~19:00	南1号館106教室
松百秋心于1秋、2秋時庄	4月20日	(月)	10.30 - 19.00	用1ヶ畑100教室
医療事務講座	4月17日	(金)	12:20~12:50	西2号館401教室
区原学协鹏 庄	4月21日	(火)	12.20 - 12.30	四2万路401秋至
2級FP技能検定(AFP)試験対策講座	5月19日	(火)	18:30~19:00	南1号館104教室
24X111XHE1XAE\A11/pagx对宋鹏座	6月5日	(金)	10.30 -19.00	H175104秋至
	4月15日	(水)	18:45~19:15	南1号館101教室
初学者向け日商簿記2級ストレート講座	4月22日	(7/0)	16:45~19:15	用1万路101教主
	4月18日	(土)	13:15~13:45	中央棟401教室
宅建士総合講座	4月18日	(土)	13.13 -13.43	中央棟402教室
七年146日時生	4月23日	(木)	18:45~19:15	南1号館104教室
行政書士総合講座	4月16日 (木)			南1号館101教室
11以音工和口畴庄	4月20日	(月)		用1万路101叙主
マナー・プロトコール検定3級対策講座 マナー・プロトコール検定2級対策講座	4月23日	(木)	18:30~19:00	南1号館106教室
夏期集中MOS資格取得対策講座【Word】A・B日程 夏期集中MOS資格取得対策講座[Excel】A・B・C日程 夏期集中MOS資格取得対策講座「DwerPoint」 夏期集中MOS資格取得対策講座 [Excelエキスパート]	6月19日 7月3日	(金)	16:30~19:00	南1号館201教室

※ガイダンスは上記日程以外にもございます。詳しくはホームページをご覧ください。
※ガイダンスの教室は変更することがあります。

◆お問い合せ・連絡先:学習院さくらアカデミー Tel:03(5992)1040 Fax:03(5992)1124 E-mail:sakura-academy@g-shinshinkai.co.jp



**春講座のパンフレットを無料でお送りします。 URL:http://g-sakura-academy.jp/



■春期特別講座のご案内

4月から既に始まっている春期講座の「特別講座」として、様々な先生方のご講義を用意し、充実した内容で開催しています。この機会にぜひお申し込みください。

●オリンピックと異文化理解 for & beyond TOKYO 2020

日時:5月16日(土)13:30~15:00

講師:荒井啓子(学習院女子大学教授)

受講料:1,650円(1回)

内容: 2013年9月、TOKYO2020の開催が決定しました。それから6年余りがあっという間に経ち、あと数か月で新国立競技場に聖火が灯ります。スポーツは社会の写し鏡といわれます。オリンピックは単なるスポーツの国際競技大会であるばかりではなく、人間の生き方や様々な文化を体現しています。オリンピック・パラリンピックから発信される多様なメッセージを読み解きながら、異文化理解や持続可能な成熟した社会について考えてみたいと思います。

●科学史の中の真空

真空の科学と技術という観点から科学史を見てみましょう

日時:6月6日(土)13:30~15:00 講師:荒川一郎(学習院大学教授)

受講料:1,650円(1回)



内容:アリストテレスが「自然は真空を嫌う」と述べて以来2,000年の間、その言葉は教義として君臨し、誰も真空が存在するとは考えませんでした。17世紀にガリレイの弟子のトリチェリが真空が実現できることを示すと、そこから気体の科学が発展しました。さらに真空の中で、現代科学につながる重要な発見がなされ、その研究が進められました。様々な実験を紹介しながら、現代の極高真空(1京分の1気圧)にいたる科学史を辿ります。

※上記お二人の先生の肩書は、令和2(2020)年2月現在のものです。

計算機センター

計算機センターの利用について

[1] 実習室等のコンピュータの利用について

1.学部学生の場合

①情報科目のうち「初等情報処理1」を履修する。

授業を履修している期間、コンピュータを利用することができます。単位を取得した学生に限り、卒業まで継続してコンピュータを利用することができます。

②①以外の「コンピュータを使用する授業科目」を履修する。

その授業を履修している期間に限り、コンピュータを利用することができます。

③計算機センター主催の認定試験に合格する。

4月と8月に行われる計算機センター主催の認定試験に合格すると、卒業まで継続して利用することができます。但し、この試験は「初等情報処理1」と同等以上の知識を持っている方を対象に実施します。詳しくは、計算機センターまでお問い合わせください。

※令和2(2020)年度新入学生は学生センターオリエンテーションで説明します。

2.転部・転科をした学生の場合

成績表もしくは成績証明書の原本と学生証を計算機センター事務室へ 持参してください。「初等情報処理」」の単位が取得済みであることを確認後、 ユーザ登録変更手続きを行います。

3.大学院生の利用について

令和2(2020)年度新入学生は学生センターオリエンテーションで説明します。それ以前の入学者は計算機センター事務室にお問い合わせください。

4.その他の学生について

計算機センターにお問い合わせください。

(2)利用時間

計算機センター実習室

月曜日~金曜日:9:00~18:00 土曜日:9:00~14:00 日祝日:閉室

計算機センター実習室以外にも、コンピュータを利用できる場所があります。 詳細は「学生生活の手引」等を参照してください。

部

令和2年度学費納入について

令和2年度第1期分の学費納付金振込依頼書(振込用紙)の発送予定および 納付期限は、下記のとおりです。納入について不明な点などございましたら、会計課 までお早めにご相談ください。

- 発送時期 令和2年4月中旬
- 納付期限 令和2年4月30日(木)

- ◎必ず送付された振込用紙にて納付してください。
- ◎年額を納付することもできます。(第1期分のみの振込依頼書と年額分の振込依頼書を 送付いたします。)
- ◎住所変更をされた方は学生センター教務課へ届け出てください。
- ◎令和2年度入学者については、入学手続時に第1期分学費を納入するため掲載して いません。第2期分学費については、7月発行のCOMPASSに掲載いたします。

学 費 一 覧 表

(単位 円)

							字 費	一覧	表						(早	位 円)
	_		項目	入学年度	合 計	分納額・		※在籍料	授		料	*	*	*	* **	* *
区		分		1104	050 200	第1期	第2期		※ 第1期	第2期	計 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((施設設備費		輔仁会費	新聞代	学会費
				~H24	950,300	617,300	333,000	20.000	333,000	333,000	666,000	270,000	5,000	6,300	500	2,500
		ł.	去学部	H25 ~ H28	1,010,300	677,300	333,000	60,000	333,000	333,000	666,000	270,000	5,000	6,300	500	2,500
				H29 ~ R1	1,040,300	697,300	343,000	60,000	343,000	343,000	686,000	280,000	5,000	6,300	500	2,500
				~ H24	947,800	614,800	333,000		333,000	333,000	666,000	270,000	5,000	6,300	500	
		経	済学部	H25 ~ H28	1,007,800	674,800	333,000	60,000	333,000	333,000	666,000	270,000	5,000	6,300	500	
	L			H29 ~ R1	1,037,800	694,800	343,000	60,000	343,000	343,000	686,000	280,000	5,000	6,300	500	
大			学科・史学科・ 語日本文学科	~ H24	1,023,800	648,800	375,000		375,000	375,000	750,000	260,000	5,000	6,300	500	2,000
		英詔	一 一英米文化学科 ツ語圏文化学科	H25 ~ H28	1,083,800	708,800	375,000	60,000	375,000	375,000	750,000	260,000	5,000	6,300	500	2,000
	文		ス語圏文化学科	H29 ~ R1	1,113,800	728,800	385,000	60,000	385,000	385,000	770,000	270,000	5,000	6,300	500	2,000
	学部			H24	1,053,800	678,800	375,000		* 30,000 405,000	375,000	* 30,000 780,000	260,000	5,000	6,300	500	2,000
		心理学科	心理学科 教育学科	H25 ~ H28	1,113,800	738,800	375,000	60,000	* 30,000 405,000	375,000	* 30,000 780,000	260,000	5,000	6,300	500	2,000
			3213 3 11	H29 ~ R1	1,143,800	758,800	385,000	60,000	* 30,000 415,000	385,000	* 30,000 800,000	270,000	5,000	6,300	500	2,000
学			66. TH 294.49	~ H24	1,465,800	938,800	527,000		* 80,000 607,000	527,000	* 80,000 1,134,000	320,000	5,000	6,300	500	
		化学科 生命科学科 理	物理学科 化学科	H25 ~ H28	1,525,800	998,800	527,000	60,000	* 80,000 607,000	527,000	* 80,000 1,134,000	320,000	5,000	6,300	500	
	理		上 命科学科	H29 ~ R1	1,565,800	1,023,800	542,000	60,000	* 80,000 622,000	542,000	* 80,000 1,164,000	330,000	5,000	6,300	500	
	学部		数学科	~ H24	1,385,800	858,800	527,000		527,000	527,000	1,054,000	320,000	5,000	6,300	500	
				H25 ~ H28	1,445,800	918,800	527,000	60,000	527,000	527,000	1,054,000	320,000	5,000	6,300	500	
				H29 ~ R1	1,485,800	943,800	542,000	60,000	542,000	542,000	1,084,000	330,000	5,000	6,300	500	
	Г	国際社	社会科学部	~ R1	1,246,800	794,300	452,500	60,000	452,500	452,500	905,000	270,000	5,000	6,300	500	
		法	学・政治学	~ R1	709,700	455,700	254,000		254,000	254,000	508,000	198,000		1,200		2,500
	博	経済	斉学・経営学	~ R1	707,200	453,200	254,000		254,000	254,000	508,000	198,000		1,200		
大	士前	人文	心理学・臨床心理学 教育学以外	~ R1	703,200	448,200	255,000		255,000	255,000	510,000	190,000		1,200		2,000
	期	科学	心理学 · 臨床心理学 · 教育学	~ R1	733,200	478,200	255,000		* 30,000 285,000	255,000	* 30,000 540,000	190,000		1,200		2,000
	課程	自然	実験	~ R1	955,200	611,200	344,000		* 70,000 414,000	344,000	* 70,000 758,000	196,000		1,200		,
		科学	理論	~ R1	885,200	541,200	344.000		344.000	344.000	688.000	196.000		1.200		
学		 法	学・政治学	~ R1	669,700	429.700	240.000		240.000	240.000	480.000	186.000		1.200		2,500
	博		音学・経営学	~ R1	667,200	427,200	240,000		240,000	240,000	480,000	186,000		1,200		_,,,,,
	士後	人文	心理学・臨床心理学	~ R1	663,200	423,200	240,000		240,000	240,000	480,000	180,000		1,200		2,000
院	期	科学	教育学以外 心理学・ 臨床心理学・教育学	~ R1	693,200	453,200	240.000		* 30,000 270,000	240,000	* 30,000 510,000	180,000		1,200		2,000
	課程	-14 A-1-1	実験	~ R1	905,200	580,200	325.000		* 70,000	325,000	* 70,000	184.000		1.200		_,500
		自然 科学	理論	~ R1	835,200	510,200	325,000		395,000	325,000	650,000	184,000		1,200		
I	[] 東門耳		法務研究科	~ R1	1.301.200	744.200	557.000		557.000	557.000	1,114,000	186.000		1.200		
	-1-1 1s	ハノマナル	PART MIDELL	11.1	1,001,200	1 11,200	001,000		001,000	001,000	1,111,000	100,000		1,200		

※は、第1期徴収分です。 *は、研究実験費であり、授業料に含みます。 大学生については、上記納付金のほかに、桜友会基本会費(永年同窓会費: 徴収は1回のみ)35,000円を入学後3年目の学費第1期分にて徴収いたします。ただし、編入学者、再入学者、外国人学生特別 入試入学者については、桜友会が入学手続後または在学中に徴収いたします。桜友会基本会費に関するお問い合わせは、桜友会事務局にご照会願います。 桜友会事務局 TEL:03-3988-3288 学習院目白キャンパス内

キャリアアップ 🔓

キャリアセンター

3年生・博士前期課程1年生対象

■キャリア(就職・進学等)ガイダンス

~2022年卒業(修了)予定者は全員参加!~

日時:

法学部•大学院	4月21日(火)	
経済学部	4月22日(水)	18:00~19:30
文学部	4月23日(木)	百周年記念会館
理学部·国際社会科学部	4月24日(金)	

※割当の学部の日程で都合がつかない場合は、他の日に出席すること

いよいよ、学生生活も後半戦が始まります。就職か進学か、自分の将来の進路について考えながら、後半の学生生活を将来につなげるために、キャリアセンターからセミナーの説明やアドバイスを送ります。G-Port等の必要な手続きについても説明し、3年生対象の『就職ガイドブック』をお渡ししますので、2022年卒業(修了)予定者は全員参加してください。

4年生·博士前期課程2年生対象

■推薦状発行について

企業より推薦状の提出を求められている場合、次の要件を満たして いる者に交付します。

- ①「進路登録票」をG-Portで入力していること
- ②卒業・修了見込証明書の交付が受けられる者
- ●受付開始日:5月25日(月)
- ●交付開始日:6月1日(月)

原則として受付日の翌日(事務室閉室日を除く)に交付します。

- ●受付場所:キャリアセンターカウンター
- ●事務室開室時間:月~金:8:40~16:45 土曜日:8:40~12:30
- ●注意:申込時に印鑑を持参すること。内々定の条件として推薦状を 求められている場合は、提出後の内定辞退はできません。

その他

■個別面談(キャリア・就職)

キャリア支援や就職活動に関する個別面談を随時受付けています。希望者は、G-Portより予約してください。

■就職関連情報

就職希望者に対する情報・連絡は、主に掲示とG-Portによって行っています。掲示板は西5号館4階キャリアセンター事務室前に設置されているので、各自確認してください。

また、キャリアセンターホームページでは、学習院大学宛に届いた 求人票を見ることもできます。こまめにアクセスしてください。

https://www.univ.gakushuin.ac.jp/career/

■G-Portでの情報提供について

キャリアセンターでは、掲示・立看板・HPのほかに、

- ①緊急性のあるお知らせ
- ②キャリアセンター主催の各種セミナーの案内
- ③学校推薦などの求人情報
- ④インターンシップの受入情報(学校推薦を伴うもの)

などの情報をG-Portで配信しますので、情報を逃さないよう日常的にG-Portを確認するようにしてください。

令和2年度前期 キャリア・就職支援プログラム

〈1~3 年生・M1 年生対象〉

(1:3+±:101+±x)3/									
月日	曜日	時間	場所	行 事 名					
4月10日	金	18:00~19:30	西5号館B1教室	公務員ガイダンス					
4月21日	火	18:00~19:30							
4月22日	水	18:00~19:30	- - 百周年記念会館	就職・進学等ガイダンス ※3年生・M1年生のみ参加可					
4月23日	木	18:00~19:30] 日周牛記念云照	税職・進子等ガイタンス ※3十土・N11十土のみ参加刊					
4月24日	金	18:00~19:30							
5月19日	火	18:00~19:30	百周年記念会館	インターンシップ講座					
5月23日	土	10:00~11:30	百周年記念会館	保護者向け就職ガイダンス ※3年生・M1年生保証人対象					
5月27日	水	18:00~19:30	西5号館202教室	公務員向けインターンシップ講座					
6月23日	火	18:00~19:30	西5号館301教室	留学経験者向け就職セミナー					

〈4 年生・M2 年生対象〉

月日	曜日	時間	場所	行 事 名
5月12日	火	3時間程度(予定)	百周年記念会館	学内企業説明会
5月~6月頃		1時間半~2時間(予定)	未定	公務員試験特別対策講座(複数回実施)
6月~7月頃		3時間程度(予定)	百周年記念会館	学内企業説明会

※行事の内容、日時等は変更になることがありますので、キャリアセンターカウンター及びHP等で確認してください。

図書館の行こう

図書館からのお知らせ

■学習院大学 Discovery Serviceが新しくなりました!

【図書館共通】

学習院大学Discovery Serviceがより利用しやすい画面にリニューアルしました。 学習院大学が契約している100種類以上のデータベースや、インターネット上にある 学習・研究に適した情報を「一度にまとめて検索」できます。

また、今回のリニューアルによって、学習院大学で利用できる図書や雑誌(紙版 資料)と、電子ジャーナル・電子ブック(電子リソース)が、ひとつの画面で一度に 表示できるようになり、文献・資料探しがより便利になりました。



併せて、電子ジャーナル・電子ブックリストもリニューアルしました。画面が見やすくなったほか、和雑誌も洋雑誌と同様にタイトルの頭文字検索ができるようになりました。また、これまでの分野別による検索に加え、契約学部別による検索も可能となり、必要とする資料へのアクセスがより簡便になりました。



さらに便利になった学習院大学Discovery Serviceをどうぞご利用ください。

■新入生応援キャンペーンを実施しています

【大学図書館】

大学図書館では、新入生を対象に以下の「応援キャンペーン」を実施しています。図書館から充実した学生生活を始めてみませんか。

- ①新入生へのメッセージコーナーの設置
- ②学生生活に役立つ本の展示(貸出できます)
- ③図書館ボランティアスタッフによる図書館案内
- ④すぐに役立つ図書館オリジナルグッズの配布



図書館1階多読コーナー横 (昨年度撮影)

■華族会館寄贈資料がWebから見られます!

【大学図書館】

大学図書館の貴重なコレクションのひとつに、学習院創立時に華族会館から寄贈された華族会館寄贈資料があります。これらの資料は明治時代に華族学校(現在の学習院)の教育・学習で使用された資料価値の高いものになります。この度、平成26年度から6ヵ年に亘り、一般社団法人霞会館からご支援をいただいていた同資料のデジタル化が完了しました。デジタル化した画像はWeb上の「学習院大学デジタルライブラリー」で公開しています。鮮明な画像で公開されていますので、是非ご覧ください。



学習院大学デジタルライブラリー (https://glim-op.glim.gakushuin.ac.jp/)



■教科書を配布します!

【法経図書センター】

法経図書センターでは、教員から譲り受けた不要となった資料等を定期的に 配布しています。新学期には、先輩方が単位取得、進級等で不要となった教科 書類を配布する予定です。配布スケジュールは法経図書センターホームページを ご確認ください。

■メールマガジンを配信しています

【法経図書センター】

法経図書センターでは、皆さんの大学生活に役立つ情報を掲載したメールマガジンを配信しています。近日入荷予定の本や研究・レポート作成に役立つサイトの紹介、リサイクル図書配布やセミナー開催のお知らせなど、盛りだくさんの内容でお届けしています。

配信希望の方は「@gakushuin.ac.jp」のアドレスから、タイトルに「メールマガジン配信希望」、本文に学籍番号を記載の上、下記QRコードのアドレスまでご連絡ください。皆さんのお申込みをお待ちしております。

lelibref@gakushuin.ac.jp



■春季休業中の長期貸出の返却期限日について

【大学図書館・法経図書センター・理学部図書室共通】

春季休業中の長期貸出の返却期限日は以下の通りです。 返却期限日:4月14日(火)

ヘルス・サポート



保健ヤンター

保健センターでは年間6000件以上の利用があり、皆さんが心身ともに健康で個々のラ イフスタイルを豊かなものにできるよう、医師や看護師がサポートしています。気軽にご利 用ください。また、相談や診察等の内容は守秘義務で守られていますのでご安心ください。

健康的に大学生活を送るための基本

- 1.1日3食必ず食べる(食べ過ぎや過度なダイエットに注意、バランスよく)
- 2. 睡眠をとる(6~8時間を心がける)
- 3. 運動する(自分に合った運動を継続する)
- 4. タバコを吸わない(周囲の人への迷惑、環境汚染をしている、病気を発症するリス クが高いことを意識する)
- 5. アルコールは未成年には飲ませない、イッキ飲みをしない、ほろ酔いで引き上げる
- 6. 肥満防止(肥満は合併症の原因になる。高血圧・糖尿病・脂肪肝・動脈硬化・心疾患等)
- 7. ストレス発散(自分なりの方法を見つける)
- 8. 毎年健康診断を受ける(自分の健康を毎年チェックする)

■ 保健センターの主な業務

●定期健康診断·特殊健康診断

定期健康診断(全学年対象)・特殊健康診断(理学部対象者)の実施。

アルコール体質テスト、薬物乱用防止の講演会、応急手当法の指導、体成 分測定、骨密度測定などの実施。

●健康相談

健康的に大学生活を送るために、学校医、精神科医、看護師が相談に応じています。 相談内容は持病についてやアルコール、性感染症、予防接種、危険ドラッグについて 等様々です。また、こころの健康も健康に生活するためには欠かせないものです。健康 に関して困っていることや疑問に思うことがあればいつでも相談に来てください。

●医療機関の紹介

必要時には、医療機関の紹介や校医による紹介状の発行も行っています。

●応急処置や休養への対応

体調がすぐれなかったり、けがをしたときなどに応急的に処置対応をして

医療機関ではありませんので、原則として薬はお渡ししていません。日頃 から自分にあった薬を携帯しておくことをお勧めします。

●健康診断証明書

就職、進学、留学、試合などに必要な健康診断証明書を発行しています。 定期健康診断を受けていることが原則です。

■場所

西2号館 地下1階

■学校医来室時間

曜日	時間	担当
火	13:00~15:00	大越 敦
第2.4水 第1.3木	13:00~15:00	原 秀雄
金	14:00~16:00	村上 祐子
第2·4火(予約制)	9:30~11:30	濱田 庸子 (精神保健)
第1:3金(予約制)	9:30~11:30	柏倉 美和子 (精神保健)

○相談内容、個人のプライバシーは厳守します。

■保健に関する予定

学生定期健康診断	4月1日(水)・2日(木)・3日(金)・4日(土)・6日(月)
健康診断証明書発行開始	5月7日(木)から
健康診断の結果通知	4月末
特殊健康診断(理学部該当者)	春季: 5月21日 (木)·22日 (金) 秋季: 10月21日 (水)·22日 (木)

スポーツ・健康科学ヤンター

トレーニングルームの利用について

本学の学生・教職員は講習会に参加すると、どなたでもトレーニン グルームを使用することができます。トレーニングルームでは、エアロバ イク、筋力トレーニングマシーン、フリーウエイトなどを完備しており、測 定室では血圧測定や身体測定なども行えます。

また、インストラクターも常駐しており、初心者の方でも安心してご利 用いただけます。健康増進・体力向上のために、ぜひご活用ください。

■ 開室時間

■ 案内図 ● 2階 学生相談室

2 地下1階 保健センター

月~土 9:00~20:30 (授業期間中) 授業期間以外は、掲示板、またはホームページでご確認ください。

西2号館地下2階

※地下2階入口では、学生証が必要です。ICカードリーダーに学生証をタッチして 入館、退館してください。

※開室時間や講習会のスケジュールは、スポーツ・健康科学センター掲示板、または ホームページ(https://www.gakushuin.ac.jp/univ/shsc/)で確認ができます。 ※講習会のお申し込みは、トレーニングルーム受付でお願いいたします。

学牛相談室

一困りごとがあったら一

喜びや期待に心はずむ季節ですが、その一方で慣れない環境にと まどい不安に思うこともあります。一人で考え、解決していくことは大切 ですが、時にはなかなか解決の糸口が見えないこともあります。

そんな時には一人で悩まず、学生相談室を訪ねてみてください。学 業のこと、進路のこと、人間関係のこと、自分の性格や心のことなど、 皆さんが直面した様々な問題について専門の相談員(カウンセラー) が対応します。

■開室時間

月~金曜日 9:30~17:00 土曜日 9:30~12:30

中央教育研究棟2階

■電話

03-5992-1062

■ホームページ

https://www.gakushuin.ac.jp/univ/sco/

- *学生相談室の受付、または電話で、事前に相談の予約をおとりください。緊急の場合 は、なるべく早くに相談に応じられるよう調整します。
- *相談室は秘密厳守としており、相談者のプライバシーは固く守られますので、安心して ご利用ください。
- *相談は無料です
- *新一年生、編入学の方には、学生相談室についてご案内しますので、ぜひ一度お立ち 寄りください。
- *ご家族・保証人の方からのご相談もお受けしています。
- *相談内容や希望に応じて、学内の他の窓口や学外の専門機関を紹介します。

学生生活を送る上での注意事項



「学習院大学の学生」は、社会一般において一定の評価をいただいています。社会は、皆さん自身が思っている以上に、皆さんを学習院大学の学生として認識し、注目しています。常に学習院大学の学生としての誇りを持って行動してほしいと思います。

以下には、学内における注意事項も含まれていますが、新しい学年を迎えた4月のこの時期に改めて確認するようにしてください。

飲酒について

未成年飲酒は法律で禁止されているので勿論ですが、成年となってからも、お酒を過剰に飲んだり、一気飲みをすること、させることは、生命に関わるトラブルに繋がりますので、絶対に行わないでください。

学内での飲酒、学内への酒類持込みは禁止です

特別に許可された行事以外の野外での飲酒、許可されている施設以外での飲酒は一切禁止です。

また、酒類の学内持込みも厳禁です。卒業生からの寄贈品や、合宿等から持ち帰った酒類を黎明会館部室に保管(放置)することも禁止ですので注意してください。

違反が認められた場合は厳正に対処します。

学外での飲酒について

本学学生であることの自覚を持って、節度ある飲酒を心がけてください。

- ・未成年者の飲酒は厳禁:未成年は飲まない、飲ませない
- ・一気飲みの禁止:一気飲みをしない、させない
- ・会合終了後は速やかに解散:店や駅の前で騒がない、付近の通行を妨げない、近隣に迷惑をかけない

急性アルコール中毒について

急激なアルコール摂取は、意識がなくなったり、呼吸が麻痺したりして、死に至る危険性があります。これを「急性アルコール中毒」と言います。急性アルコール中毒を防ぐには、短時間に大量のお酒を飲まない、自分の適正飲酒量を守ること等が重要です。

急性アルコール中毒になってしまった場合、東京消防庁救急相談センター(「#7119」または「03(3212)2323」(24時間対応))に相談し、必要な場合には救急車を呼び、病院で適切な治療を受けることが大切です。

薬物乱用について

薬物乱用とは、社会的常識、特に医学的常識を逸脱して、危険ドラッグをはじめ麻薬や覚せい剤等の薬物を使うことです。たとえ1回使用しただけでも乱用にあたります。

大麻、覚せい剤等、法律で禁止された薬物の吸引は、重大な健康被害が生じるとともに、手を出した瞬間に厳正な社会的制裁が待っています。また、危険ドラッグは、違法薬物と同様に、けいれん・意識障害・呼吸困難等の重大な健康被害を引き起こす危険な成分が含まれている恐れがあります。場合によっては、違法薬物以上の危険性がある場合もあり、身体への影響は計り知れません。また、薬物を吸引したことが原因で引き起こされたと見られる事故も増えており、人生を棒に振ることにもなりかねません。勧誘や誘惑に負けず、絶対に手を出さないでください。

ソーシャルメディアの使い方について

近年、ソーシャルメディア(SNSや動画共有サイト等)の普及により、情報を気軽に世界中に発信できるようになりました。皆さんにとっても、手軽で便利で、友人間のコミュニケーションには欠かせないツールになっていることと思いますが、その使い方について今一度考えてみてください。

どのようなサービスに、どのようなテキストや画像を載せるかは、皆さんの意思に任されています。誰に許可を得ることもなく主体的にできてしまいますが、掲載した時点で、自分の意思では回収も消去も完全にはできなくなることをよく認識してください。

その上で、掲載した内容によっては、周囲に大きな影響を及ぼすことを改めて想像してください。他意が無かったとしても、自分自身が誤解されたり、他者を傷つけてしまう結果を招くかも知れません。その後始末は自分でつけることはできず、大学生がとれる責任範囲ではおさまりません。

情報は常に世界中に向けて発信されています。うっかり知り合い に向けて発信した一言から、個人情報の流出、名誉毀損、犯罪へ の関与の疑いがかかることさえあります。また、就職活動の際には、 エントリー先の企業の方が、あなたの情報を見ている可能性もあり ます。

本学では令和2年4月1日より「学習院大学ソーシャルメディアガイドライン【学生向け】」が施行されます(P.17掲載)。

ソーシャルメディアの利用にあたっては、本ガイドラインに従って 行動するようにしてください。

警告:学内PCアカウントの不正使用について

学内PCのアカウントを貸し借りする行為は、「不正アクセス行為」に相当し、法律に抵触するばかりでなく、学内のセキュリティ対策に脅威をもたらすものです。

例えば、アカウントを貸し出したために、第三者による不正な履修登録や課題提出などがなされ、その結果、自らの成績に重大な影響を及ぼされることにもなりかねません。

学生諸君は、情報倫理の欠落による、これらの重大な結果を引き起こす前に、あらためて「アカウントの貸し借り」は、貸し出す側も借り受ける側も双方共に決して許されぬ行為であることを心に銘記し、絶対に行わないようにしてください。

盗難について

学内であっても盗難が発生することがあります。

多い事例としては、机上・ベンチなどに荷物を置いたままその場を 離れ、置き引きにあうケースです。次のことに注意してください。

- ●所持品から目を離さない
- ●教室・学生ホール・学生食堂・屋外のベンチなどで、荷物を置いた まま席を離れない
- ●財布等貴重品は常に身につけておく(トイレ等で、わずかな時間席を離れる時も、置いたままにはしないこと)

学内であるという安心感から無防備になりがちですが、学内といえども 決して安全ではありません。

大学構内は、たとえ「窃盗犯」が侵入したとしても、見つけることは困難です。貴重品・手荷物の管理は、個人の責任でしっかりと行ってください。

学内での喫煙について

学習院大学は完全分煙です。

喫煙は、学内2箇所に設置している「喫煙ゾーン」でお願いします。 分煙を徹底するために、全ての喫煙ゾーンにはゾーン標示を施していますので、よく確認をし、喫煙マナーを守ってください。受動喫煙防止 にご協力をお願いします。

- ●建物内はベランダを含めて全て喫煙禁止です。違反行為者に対しては、厳正に対処します。
- ●大学内での喫煙は必ず屋外の「<mark>喫煙ゾーン」</mark>で行ってください (喫煙場所は「喫煙ゾーンマップ」を参照してください)。
- ●歩きタバコ・吸殻のポイ捨て等、喫煙マナーに反する行為は禁止です。



喫煙ゾーンマップ

学内でのスマートフォン等の充電について

西5号館1階学生ホールの南西側スペースに、スマートフォン/ タブレット等の充電用に"充電コーナー"を設けています。

以下の注意事項を守って利用してください。

- ●充電用ケーブルの設置はありませんので、各自で持参の上、使用 してください。
- ●充電中は、そばを離れないようにしましょう。(盗難等に対して大学は責任を負いません)
- ●長時間の利用は控え、譲り合って利用しましょう。
- ●学生ホールの開室時間内のみ利用できます。 なお、充電コーナー以外の場所(コンセント)での充電は盗電にあたり ますから、厳に慎んでください。

カルト教団・宗教の勧誘活動にご注意ください

最近、大学キャンパス内において、学外者がコンサートやボランティアを誘い文句に親しげに本学学生に声をかけ、接触する事例が多発しています。本学では、このような学外者の勧誘は一切認めておりません。また、在学生による学内での布教活動も一切認めておりません。声を掛けられても、不用意に自分の名前、住所、電話番号、メールアドレス等の個人情報を教えないよう、十分に気をつけてください。一部の宗教団体には、日常的な学生生活を送れなくなるような行動を強いるカルト集団があります。学生の皆さんは、安易な誘いに

何らかの勧誘をされた等、不安のある学生は、学生課まで相談に 来てください。

海外渡航する上での注意

乗らないよう、十分に注意をしてください。

海外渡航を計画している方は、出発前に安全確認をしてください。 慣れない国外では、犯罪など予期せぬトラブルに巻き込まれる可能性が 十分にありますので、渡航前に必ず、外務省海外安全ホームページなど で現地の状況や安全対策を確認し「自分の身は自分で守る」ことを念頭 に行動してください。外務省より危険情報が発出されている国、地域へ の渡航を考えている方は、渡航計画を再検討してください。なお、クラブ 活動の合宿などを外国で実施する場合には、必ず4週間前までに学生 課まで所定の届け出をしてください。

万が一、渡航先でテロ事件や不測の事態に巻き込まれる等の問題が発生した場合は、学生センター学生課まで連絡してください。

■参考情報

外務省海外安全ホームページ https://www.anzen.mofa.go.jp/ 外務省海外安全情報携帯版 https://www.anzen.mofa.go.jp/m/mbtop.html 外務省渡航登録サービス https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/

学習院大学ソーシャルメディアガイドライン 【学生向け】について

本学では、令和2年4月1日より、「学習院大学ソーシャルメディアガイドライン【学生向け】」が施行されます。本学学生は、本ガイドラインに従ってソーシャルメディアを利用してください。

学習院大学ソーシャルメディアガイドライン【学生向け】

令和2年4月1日施行

1. 学習院大学ソーシャルメディアガイドラインの目的

今日、Twitter、Facebook、YouTube などのソーシャルメディアが広く社会に浸透し、情報伝達手段の一つとして、多くの教育機関、企業及び個人に利用されています。

ソーシャルメディアは便利である一方、軽率な発言や誤解を招く投稿など、扱いを間違えると予期せぬ結果につながることが多々あり、学習院大学(以下「本学」という。)はもとより、一個人にも問題やそれに対する責任が発生するおそれがあります。

そこで本学の学生に対して、情報を発信する場合の遵守すべき姿勢 及び行動の指針を定めることを目的にガイドラインを策定しました。

ソーシャルメディアを利用する場合は、ガイドラインに従って行動してください。

2. ソーシャルメディアの定義

このガイドラインにおけるソーシャルメディアの定義は、SNS(LINE、Twitter、Instagram、Facebook など)、動画共有サイト(YouTube など)、ブログなど、インターネット上で利用者が情報を発信することにより、社会的ネットワークが形成できるサービスを指します。

例示したサービスに限らず、通信販売サイトのユーザーレビューやオンラインゲームでのメッセージ交換など、幅広いサービスが含まれることに留意してください。

3. ガイドライン適用対象

このガイドラインは、本学の学生がソーシャルメディアを利用する 行為を対象とします。

4. 指針

1) 法令及び規程の遵守

日本の法令 (渡航時には諸外国の法令や国際法) 及び学校法人学習院の定める「学校法人学習院情報セキュリティポリシー」を遵守してください。

2) 各種権利の尊重

基本的人権、肖像権、プライバシー権、著作権等に関して、他者 の権利や利益を侵害することがないように十分留意してください。

3) 発信する情報の正確性及び情報拡散性への配慮

発信する情報は、正確を期すとともに、その内容について誤解を 招かないように留意してください。また、一度ネットワーク上に公開 すると完全には削除できないことを認識してください。

4) 守秘義務及び機密情報の取り扱い

大学で知り得た情報(他人の個人情報や研究上の秘密など)には、 守秘義務が課せられている場合や機密情報が含まれている場合が あります。このような情報を不用意に発信しないように注意して ください。学生個人が学外活動において関わる組織についても同様です。

5) 個人を尊重し他者に敬意を払う

ソーシャルメディア上での議論等の場合には、他者に敬意を払うことを忘れずに議論等を行ってください。人種、国籍、性差や性的指向、障がいなどに対する差別的な内容、他者を不快にさせる性的な内容、偏った批判などは決してしないように細心の注意を払ってください。

6) 自覚と責任を持つ

ソーシャルメディアを利用して情報を発信する場合には、本学の 学生であることの自覚と責任を持ってください。

7) 個人情報及びプライバシーの保護

第三者による個人特定につながる情報やプライバシー性の高い情報を発信する場合は、情報の公開範囲に気をつけてください。いったん発信した情報を自身によって完全にコントロールすることは事実上不可能です。複数の SNS を利用している場合は、それらが突き合わされて情報が漏洩するケースもあります。また自身の発信する内容によって他人のプライバシーを侵害しないように気をつけてください。

以上

学校法人学習院情報セキュリティポリシー について

学校法人学習院では、情報資産のセキュリティを確保するため、「学校法人 学習院情報セキュリティポリシー」を制定しています。

対象者には、本院の情報を利用するすべての者として、学生諸君も含まれますので、以下にその全文を掲載して周知します。

学校法人学習院情報セキュリティポリシー

平成29年4月1日施行

I 情報セキュリティ基本方針

1 基本理念及び目的

学校法人学習院(以下「本院」という。)において、健全な教育・研究活動を実践し、社会的責務を果たすためには、情報基盤の充実に加え、情報資産のセキュリティ確保が不可欠である。

そのために、本院の教職員、学生その他本院の構成員は、情報資産の価値を十分に認識し、本院の情報資産を守るだけでなく、外部に対する不正な情報提供、情報資産の侵害等が行われないように努め、本院における情報システムの信頼性を高めていかなければならない。

そこで、本院においては、次の事項の実現を目的として「学校法人学習院情報セキュリティポリシー」(以下「本ポリシー」という。)を制定し、本院の全構成員に周知を図ることとする。本院の提供する情報資産に関連するサービスを利用する者は、本ポリシーを遵守する責任があり、意図の有無を問わず、本院内部及び外部(以下「内外」という。)の情報資産に対する権限のないアクセス、改ざん、複写、破壊、漏えい等をしてはならない。

- (1) 本院に対する情報セキュリティ侵害を阻止すること。
- (2) 内外の情報セキュリティを侵害する行為を抑止すること。
- (3) 情報資産の管理・運用を行うこと。
- (4) 情報セキュリティ侵害の早期検出と迅速な対応を実現すること。

2 用語の定義

本ポリシーで使用する用語の定義は、以下のとおりとする。

(1) 情報

本院の教育・研究・管理運営に関わる者が作成し、又は収集 及び取得した内容が記録された文書、電子文書、情報システム 内のデータ、その他それに準ずるものをいう。

(2) 情報システム

ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、記録媒体で構成されるものであって情報処理を行う仕組みであり、本院により所有又は管理されているもの及び本院との契約又は他の協定に従って提供されるものをいい、本院の情報ネットワークに接続される機器を含む。

(3) 情報資産

情報及び情報を管理する仕組み(情報システム並びにシステム開発、運用及び保守のための資料等)をいう。

(4) 情報セキュリティ

情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持すること。

ア 機密性 情報資産にアクセスすることを許可された者だ けが、情報資産にアクセスできることを確保す ること。

イ 完全性 情報資産が破壊、改ざん又は消去されていない 状態を確保すること。

ウ 可用性 情報資産にアクセスすることを許可された利用 者が、必要なときに情報にアクセスできる状態 を確保すること。

3 対象範囲及び対象者

(1) 本ポリシーの対象範囲は、次のとおりとする。

ア 本院が管理する情報資産

イ 本院の諸活動に伴い、業務委託先において取り扱われる 情報資産

(2) 本ポリシーの対象者は、本院の情報資産を利用するすべての者 (以下「利用者」という。)で、役員、教員(非常勤教員を含む。)、 職員(臨時職員、派遣職員等を含む。)、共同研究者、学生(研 究生、科目等履修生、委託生等を含む。)、各学校の生徒・児童等、 父母保証人、委託業者、学外者等とする。

Ⅱ 情報セキュリティ対策基準

1 趣旨

この対策基準は、基本方針の目的を達成するために、必要な組織・ 体制、基準、指針等を定めるものとする。

2 組織及び体制

(1) 責任者、管理者等

本院における情報セキュリティを確保するために、組織及び体制を次のとおり定める。組織・体制図は、別表のとおりとする。

ア 情報セキュリティ最高責任者

本院に情報セキュリティ最高責任者を置き、総務担当常務 理事をもって充てる。情報セキュリティ最高責任者は、本院 の情報セキュリティに関する総轄的な意思決定をし、内外に 対する責任を負う。

イ 情報セキュリティ実施責任者

本院に情報セキュリティ実施責任者を置き、教育研究組織においては各学校長、事務組織においては事務局長をもって充てる。情報セキュリティ実施責任者は、各部署の情報セキュリティに関する権限と責任を有する。

ウ 情報セキュリティ担当者

各部署に情報セキュリティ担当者を置き、次に掲げる者をもって充てる。情報セキュリティ担当者は、個々の情報機器、ソフトウェア及び情報を管理・監督し、情報セキュリティを維持するための責任を負う。

(ア) 大学・女子大学の教育研究組織

個々のクライアント機器により情報システムを利用する 全教員

(イ) 高等科・中等科・女子高等科・女子中等科・初等科の 教育研究組織 電算機主任

(ウ) 幼稚園の教育研究組織 園長が指名した者

(エ) 事務組織

事務部長(事務部長が置かれていない部署においては 次長、課長又は事務長等)

エ ネットワーク管理者

大学計算機センター及び総務部事務計算機室にネットワーク 管理者を置く。ネットワーク管理者は、基幹ネットワークと 主要な業務用サーバを運用管理し、セキュリティを維持する ための責任を負う。

オ 研究室等において、利用者自らが直接管理する情報資産を持つ場合については、各利用者が、そのセキュリティに関する責任を負う。

(2) 情報セキュリティ委員会

本院における情報セキュリティ対策を推進し、本院の情報システムの安全かつ適切な運用を図るため、情報セキュリティ委員会(以下「委員会」という。)を置く。

委員会は、基本方針の維持及び見直しのほか、情報資産に 対する重大な脅威への警戒・監視、情報セキュリティに関わる 事件・事故の調査・分析及び再発防止策の立案、啓発活動等を 任務とする。

委員会の運営等に関し、必要な事項については、学習院情報 セキュリティ委員会規程の定めるところによる。

本委員会の運営に関する事務は、総務部総務課が担当する。

3 物理的セキュリティ

(1) 情報システムの設置等

情報セキュリティ実施責任者は、サーバ機器等の重要な情報システム又は情報資産を、それぞれ設定された管理区域内に設置し、正当なアクセス権のない者が使用できないよう、セキュリティ確保に努めなければならない。

(2) 情報機器及び記録媒体の盗難対策

情報セキュリティ実施責任者は、情報機器及び記録媒体の盗 難予防に努めなければならない。

(3) 情報機器及び記録媒体の学外への持ち出し

利用者は、個人情報及び本院の重要なデータが入った情報機器及び記録媒体を、原則として学外へ持ち出してはならない。情報セキュリティ実施責任者は、やむを得ず、情報機器又は記録媒体を学外へ持ち出すことを認める場合、情報の漏えいが発生しないよう、情報セキュリティ対策を講じなければならない。

(4) 情報機器及び記録媒体の学内への持込み

利用者は、情報機器及び記録媒体を学内へ持ち込む場合は、 ウィルスチェックを行う等の情報セキュリティ対策を講じなけ ればならない。

(5) 情報のバックアップ

利用者及びネットワーク管理者は、サーバ機器等に記録する データを、必要に応じて定期的にバックアップしなければならない。

(6) 情報機器及び記録媒体の処分

利用者は、情報機器及び記録媒体を破棄する場合は、残存情報が第三者に読み取られることのないよう、情報セキュリティ対策を講じなければならない。

4 人的セキュリティ

(1) 教育·研修

情報セキュリティ最高責任者は、情報セキュリティに関する

啓発や教育を実施するため、必要な措置を講じるよう努めるものとする。

(2) 利用者の義務

ア 利用者は、情報セキュリティの重要性について共通の認識を持ち、業務の遂行にあたっては、本ポリシー及びその他関連法令等を遵守しなければならない。

イ 利用者は、内外に対して、情報セキュリティを損ねる行為 をしてはならない。

ウ 利用者は、アクセス権限のない情報にアクセスしたり、許可されていない情報を利用してはならない。

(3) 事故・障害時の報告・対応

ア 利用者は、情報セキュリティに関する事故・障害及び公開情報の改ざん等を発見した場合には、直ちに情報セキュリティ実施責任者、情報セキュリティ担当者又はネットワーク管理者に報告しなければならない。

イ ネットワーク管理者は、内外から情報システムの不正使用、 情報資産の不正な利用等にかかわる苦情、通報等があった場 合には、速やかに調査を行わなければならない。

ウ ネットワーク管理者は、調査の結果、不正が確認されたと きは、関係する通信の遮断、該当する情報システムの切離し 等必要な措置を直ちに講じ、情報セキュリティ実施責任者に 報告しなければならない。

エ 情報セキュリティ実施責任者は、重大な事故が発生した場合は、 情報セキュリティ最高責任者に報告しなければならない。

オ 情報セキュリティ最高責任者は、重大な事故について審議 する必要がある場合は、情報セキュリティ委員会を招集しな ければならない。

(4) 委託契約

情報システムの開発又は運用管理を外部委託する場合は、外部委託業者から再委託を受ける業者等も含め、本ポリシーを遵守することを明記した契約を締結するものとする。

5 技術的セキュリティ

(1) 不正アクセス等への対応

ネットワーク管理者は、不正アクセスの防止及び検出するための適切な手段を講じなければならない。

(2) アクセス制限

教育研究組織又は事務組織において、情報の内容に応じて、 アクセス可能な利用者を定め、不正なアクセスを阻止するため に必要なアクセス制限を行わなければならない。

(3) ログの保存

ネットワーク管理者は、システム等のアクセスログ、操作ログ 等について、保存期間を定めて保存しなければならない。

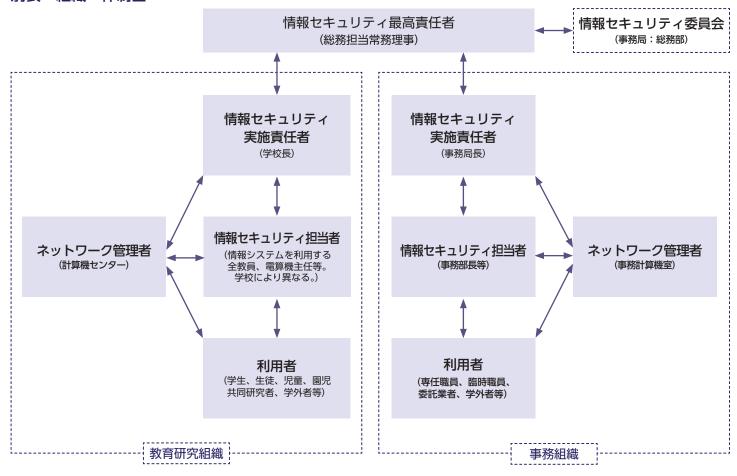
(4) ネットワーク管理者は、管理する機器・ソフトウェアについて、常にその構成を把握し、セキュリティに係る更新、ウィルス対策等適切なセキュリティの維持に努めなければならない。

6 違反者への措置

利用者が、本ポリシーに違反した場合には、法令、学習院就業 規則、学則等に基づき、処分、その他の措置を行うことがある。

7 セキュリティポリシーの評価及び更新

セキュリティポリシーの実効性については、定期的に評価を行い、改善が必要と認められた場合は、セキュリティレベルの高い、かつ遵守可能なポリシーに更新しなければならない。



学習院大学ハラスメント相談窓口 一令和2年度相談員一

- ●学部・学科等を問わず、誰にでも相談できます。
- ●相談員は、あなたのプライバシーを必ず守ります。
- ●関連規程、ガイドラインは、「大学ホームページ(学則・諸規程)」に掲載されています。

相談員氏名	所 属・職	連絡先
松元 暢子 (まつもと のぶこ) (前期 9月14日まで)	法学部 法学科教員	e-mail: nobuko.matsumoto@gakushuin.ac.jp
紙谷 雅子 (かみや まさこ) (後期 9月15日から)		e-mail: masako.kamiya@gakushuin.ac.jp
数土 直紀 (すど なおき)	法学部 政治学科教員	e-mail: naoki.sudo@gakushuin.ac.jp
鈴木 亘 (すずき わたる)	経済学部 経済学科教員	e-mail: wataru.suzuki@gakushuin.ac.jp
渡邉 真理子 (わたなべ まりこ)	経済学部 経営学科教員	e-mail: mariko.watanabe@gakushuin.ac.jp
吉田 紀子 (よしだ のりこ)	文学部 哲学科教員	e-mail: noriko.yoshida@gakushuin.ac.jp
竹綱 誠一郎 (たけつな せいいちろう)	文学部 心理学科教員	e-mail: seiichiro.taketsuna@gakushuin.ac.jp
渡邉 匡人 (わたなべ まさひと)	理学部 物理学科教員	e-mail: masahito.watanabe@gakushuin.ac.jp
齊藤 結花 (さいとう ゆいか)	理学部 化学科教員	e-mail: yuika.saito@gakushuin.ac.jp
伊藤 匡 (いとう ただし)	国際社会科学部 国際社会科学科教員	e-mail: tadashi.ito@gakushuin.ac.jp
牧田 りえ (まきた りえ)	国際社会科学部 国際社会科学科教員	e-mail: rie.makita@gakushuin.ac.jp
野坂 泰司 (のさか やすじ)	法科大学院教員	e-mail: yasuji.nosaka@gakushuin.ac.jp
長谷部 由起子 (はせべ ゆきこ)	法科大学院教員	e-mail: yukiko.hasebe@gakushuin.ac.jp
学生センター部長	学生センター職員	中央教育研究棟 1 階学生センターに直接お問い合わせください。

令和2年度 学年暦

●学部·大学院

オリエンテーション	4月 1日(水)~ 7日(火)
健康診断	4月 1日(水)~ 6日(月)
新入生履修指導等	4月 1日(水)~ 7日(火)
入学式(学部·大学院·法科大学院合同)	4月 3日(金)
第1学期授業開始	4月 8日(水)
履修登録期間(学部·大学院)	4月18日(土)~23日(木)
履修登録修正期間	4月29日(水)~30日(木)
大学開学記念日(開講日)	5月15日(金)
履修取消期間(第1学期)	5月27日(水)~29日(金)
授業評価アンケート実施(全学)	6月24日(水)~7月 7日(火)
補講期間	7月11日(土) ※1~2時限は通常授業、3~4時限のみ補講実施 7月15日(水)・16日(木)
試験振替期間	7月17日(金)~23日(木)
学期末試験追試験出願期間	~ 7月29日(水)
第1学期授業終了(学期末試験を含む)	7月31日(金)
夏季休業	8月 1日(土)~ 9月11日(金)
集中講義期間	9月 1日(火)~ 4日(金)・7日(月)
学期末試験追試験	9月 8日(火)~11日(金)
第2学期授業開始	9月12日(土)
履修登録修正期間	9月19日(土)~25日(金)
開院記念日(開講日)	10月17日(土)
四大学運動競技大会(休講日)	10月23日(金)~25日(日)
大学祭(準備・後片付日含む)(休講日)	10月31日(土)~11月 4日(水)
履修取消期間(第2学期)	11月11日(水)~13日(金)
授業評価アンケート実施(全学)	12月 5日(土)~18日(金)
冬季休業	12月27日(日)~ 1月 7日(木)
補講期間	1月 8日(金)~ 9日(土)•12日(火)~14日(木)•18日(月)
試験振替期間	1月19日(火)~29日(金)
第2学期授業終了(学年末試験を含む)	1月30日(土)
学年末試験追試験出願期間	~ 2月 3日(水)
春季休業	2月 1日(月)~ 3月31日(水)
学年末試験追試験	2月16日(火)~22日(月)
卒業者·修了者発表	3月10日(水)
卒業式・修了式(学部・大学院・法科大学院合同)	3月20日(土)

◎休日開講日

4月29日(水) [昭和の日]
 5月 4日(月) [みどりの日]

 5月 5日(火) [こどもの日]

 5月 6日(水) [振替休日]
 5月15日(金) [大学開学記念日] 7月23日(木) [海の日] 9月21日(月) [敬老の日] 9月22日(火) [秋分の日] 10月17日(土) [開院記念日] 11月23日(月) [勤労感謝の日]

●法科大学院

オリエンテーション 健康診断 入学式(学部・大学院・法科大学院合同) 第1学期授業開始 履修登録期間(第1学期) 履修登録修正期間(第1学期) 大学開学記念日(開講日)	4月 1日(水) 4月 1日(水)~ 6日(月) 4月 3日(金) 4月 4日(土) 4月 4日(土)~ 6日(月) 4月 25日(土)~27日(月) 5月15日(金) 5月27日(水)~29日(金)
入学式(学部·大学院·法科大学院合同) 第1学期授業開始 履修登録期間(第1学期) 履修登録修正期間(第1学期)	4月 3日(金) 4月 4日(土) 4月 4日(土)~ 6日(月) 4月 25日(土)~27日(月) 5月 15日(金)
第1学期授業開始 履修登録期間(第1学期) 履修登録修正期間(第1学期)	4月 4日(土) 4月 4日(土)~ 6日(月) 4月 25日(土)~27日(月) 5月 15日(金)
履修登録期間(第1学期) 履修登録修正期間(第1学期)	4月 4日(土)~ 6日(月) 4月25日(土)~27日(月) 5月15日(金)
履修登録修正期間(第1学期)	4月25日(土)~27日(月) 5月15日(金)
	5月15日(金)
大学開学記念日(開講日)	
	5日27日(水)~20日(今)
履修登録取消期間(第1学期)	3月27日(水)~29日(亚)
授業評価アンケート実施(全学)	6月24日(水)~ 7月 7日(火)
第1学期授業終了	7月31日(金)
学期末試験	7月18日(土)~24日(金)
学期末試験追試験出願期間	~ 7月29日(水)
夏季休業	8月 1日(土)~ 9月11日(金)
学期末試験追試験	9月 8日(火)~11日(金)
第2学期授業開始	9月12日(土)
履修登録期間(第2学期)	9月12日(土)~14日(月)
履修登録修正期間(第2学期)	9月19日(土)~25日(金)
開院記念日(開講日)	10月17日(土)
四大学運動競技大会(休講日)	10月23日(金)~25日(日)
大学祭(準備・後片付日含む)(休講日)	10月31日(土)~11月 4日(水)
履修登録取消期間(第2学期)	11月 11日(水)~13日(金)
授業評価アンケート実施(全学)	12月 5日(土)~18日(金)
冬季休業	12月27日(日)~ 1月11日(月)
学年末試験	1月25日(月)~30日(土)
第2学期授業終了(学年末試験を含む)	1月30日(土)
学年末試験追試験出願期間	~ 2月 3日(水)
春季休業	2月 1日(月)~ 3月 31日(水)
学年末試験追試験	2月16日(火)~22日(月)
卒業者·修了者発表	3月10日(水)
卒業式·修了式(学部·大学院·法科大学院合同)	3月20日(土)

◎休日開講日		
4月29日(水)	[昭和の日]	
5月 4日(月)	[みどりの日]	
5月 5日(火)	[こどもの日]	
5月 6日(水)	[振替休日]	
5月15日(金)	[大学開学記念日]	
7月23日(木)	[海の日]	
7月24日(金)	[スポーツの日]	
9月21日(月)	[敬老の日]	
9月22日(火)	[秋分の日]	
10月17日(土)	[開院記念日]	
11月23日(月)	[勤労感謝の日]	